

2021年度 日本工学院専門学校											
音響芸術科											
ProTools 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	吉田 光宏			実務 経験	有	職種	ミュージッククリエイター/AVID認定トレーナー				
授業概要											
ProToolsの基本的な操作と、概念をマスターし、音楽関連の現場でエンジニアとして働く者として常識となる技術を取得する。音楽録音は磁気テープ録音の始まりからマルチトラックレコーディングへと進化しライブでは実現不可能なサウンドも形成できるようになった。その流れを組むProToolsは磁気テープ録音の制約を超えた新しいサウンド作成としてもかかせない物であり、コンピュータを楽器として、レコーダーとして使用するため、アニメーションをはじめとする映像分野との連動も高くなっている。ProToolsを通じてレコーディングエンジニア、MAエンジニア、ラジオスタッフのあらゆる場面で活躍できることを目的とする。											
到達目標											
1 年次にAvid社公認プロツールズオペレーター101の取得を必修とする。この資格はPro Tools の設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格である。日本のみならず世界中のプロダクション等にPRできる強みがある。Pro Toolsの高い専門性を生かし、音楽、映像、放送など幅広い録音現場におけるエンジニアとして活躍できる機械を増やすためにも資格を取得する。資格試験の実施には日本国内では本校のような学校が環境、講師とともに最新の技術を導入している必要があり、毎年Avidに認定される必要がある。その貴重な機会を活かす。											
授業方法											
Avid認定のProTools101テキストを使用する。こちらにはProTools全般の操作と様々な用語が解説されている。一見、難解な専門用語も多くあるため、経験ある講師によって具体的な操作を用いながら解説される。講義教室での解説にはProToolsの画面を表示しながら、実際に現場で使われた音楽素材を参考にどのように変化していくか、聞きながら学ぶことになる。音で聞きながら目でも確認することを心がけて参加する。											
成績評価方法											
レポート 平常点	80% 20%	授業内容の理解度を確認するために実施する。 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
履修上の注意											
この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
Avid認定のProTools101テキスト											
回数	授業計画										
第1回	ProToolsでできること：世界中のスタジオで使われている理由を理解する										
第2回	セッション及びプロジェクトの作成：プロツールズでの初期設定と録音を始める為の準備ができる										
第3回	オペレーティングの基礎：録音・再生の基本操作ができる										
第4回	各種ウィンドウ：様々なウィンドウの役割を理解する										
第5回	録音とファイル形式：オーディオの録音とオーディオファイルの理解。オーディオの選択と再生操作ができる										
第6回	メディアのインポート：外部ファイルの読み込みができる										

2021年度 日本工学院専門学校	
音響芸術科	
ProTools 1	
第7回	MIDIとインストゥルメント：Pro ToolsのMIDI機能。バーチャルインストゥルメントを使用できる
第8回	ナビゲーション機能：ナビゲーション機能。リージョンの作成とメモリーロケーション機能を理解する
第9回	編集モードと編集ツール：編集モードと編集ツールの使い方ができる
第10回	パンチレコーディングとループ：パンチレコーディングとループレコーディングの違いがわかる
第11回	セッションとファイルの管理：セッションファイルとオーディオファイルの管理ができる
第12回	ワークスペースブラウザー：ワークスペースブラウザーの使用ができる
第13回	エフェクト処理：ミキシングテクニック。エフェクト処理等ができる
第14回	楽曲の仕上げ：マスタリングと注意点を理解する
第15回	ProTools 101試験について：試験の概要、対策